

予算特別委員会審査から②

3月2日

新型コロナウイルス対策 中小業者の救済を早急に 経済観光局審査で森本議員



質問する森本真議員

新型コロナウイルス対策の問題では大変な混乱が全国で起こっています。中小

神戸市は、垂水体育館と勤労市民センターの体育室、生田文化会館と三宮勤労市民センターの体育部門の4つの体育館を、平磯と磯上に移転統廃合する計画をしています。今井議員は、「スポーツを楽しみ、いつまでも健康でありたいと頑張っていた多くの区民が三宮の大開発と垂水駅周辺の公的施設の再編の名のもとに大変遠い体育館に追いやられてしまう。移転統廃合は住民サービスの後退だ」と計画の見直しを求めました。

答弁ダイジェスト

岡田局長：多くの方に使っていただけるよう、より大きな施設を整備する。

今井議員：利用者は立派な施設かよりも、気軽に通えるかどうか重要だ。利用者から「新体育館は国道を渡らなけれ

- 質疑項目
1. 新型コロナウイルス対策について
 2. 須磨水族園の再整備について
 3. 市場法の改正について

企業や商店では、消費税増税と新型コロナウイルス、中国の経済活動の影響などによって、2重3重に経済的な打撃を受けています。森本議員は、議員団で手分けして調査をおこない「イベント関係が全てキャンセルになり主催者が倒産必至と嘆いている」「イベント関連業者は弁当の予約が全てキャンセルになり200万円ほど売り上げが無くなった」「小・中学校給食に納入している業者や農家は急な給食ストップで頭をかかえている」「長田のケミカル業界は中国から材料、部品が入ってこないため製品が作れず開店休業状態」「須磨水族園も今日から休館で入園料の収入はないが、飼育員は来ないといけない。休館中の対応はどうなるの

か」など業者の声を紹介、さまざまな影響について悉皆（しっかい）調査をおこない、早急に対処するよう求めました。

答弁ダイジェスト

森本議員：今困っている地元業者をどう救済するのか。

平野副局長：地元企業への影響は非常に深刻だと受け止めている。産業振興センターの1Fに相談窓口を設けた。融資の相談が多いので、経営円滑化貸付など、融資制度を県市協調で手厚くする。

森本議員：いつ終息するのか分からないのに融資だけではなかなか困難だ。会社がつぶれるかどうかの瀬戸際の人が出てきている。国の制度を待たずに早急に救済できることを考えていただきたい。

3月3日

利用者の願いに 応える体育館を 市民参画推進局審査で今井議員



質問する今井まさこ議員

- 質疑項目
1. 新型コロナウイルス対策について
 2. 市民参画推進局の組織改編について
 3. 体育館の統廃合について
 4. 自衛隊への名簿提供について

ばいけない、遠くなると歩いて行けない、今の場所で利用したい」など、存続を希望する多くの意見が寄せられたが、いかがか。

今井スポーツ振興部長：高齢者の方の利用についてはご迷惑をかけているかと思うが、JRの垂水駅からよく歩いて10分程度。利用にあたり、駐車場など一定で負担をお願いしている施設でもあり、引き続き検討したいと思っている。

今井議員：利用者も多く利用率も高い垂水区には3つの体育施設があってもいいと思う。いつまでも健康でありたいと

いう思いで利用している方々の意見に応えられる施設にすべきだ。

新型コロナウイルスに関する相談先

● 神戸市電話相談窓口 (24時間受付：多言語対応可)

名称	電話番号
新型コロナウイルス専用健康相談窓口	078-322-6250
帰国者・接触者相談センター	078-322-6829

● 厚生労働省の窓口

機関名	対応時間	電話番号
厚生労働省の電話相談窓口 「新型コロナウイルスに係る厚生労働省電話相談窓口（コールセンター）」	9時00分～ 21時00分	0120-565653

3月4日

裁判を取り下げ、退去を見直せ

建築住宅局審査で西議員



質問する西ただす議員

神戸市は借り上げ住宅の入居者に対して、3つの厳しい要件に該当しなければ強制的に退去させています。西議員は

神戸市では新型コロナウイルスの感染予防の措置として、3月3日から15日までの間、市立の学校園を全校休校する方針を発表しました。今井議員は、「突然の休校決定で仕事を休めず困惑している保護者が多い。状況をしっかりとらんで、迅速に対応していただきたい」と求めました。

答弁ダイジェスト

高田副局長：基本的には家庭で見守っていただくようお願いをしているが、各家庭のニーズに応じ、局として、学童保育を開放するなど、子どもの居場所がなくならないよう対策をとっている。

今井議員：こども食堂も中止になり、

3月10日

新型コロナウイルス対策 市民が安心できる、 検査・医療体制の強化を 保健福祉局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

新型コロナウイルスによる肺炎が広がり続けており、感染拡大を防止し、市民が安心できる相談、検査、医療の体制強化が求められています。とくに蔓延と重症化を防ぐためにも、的確な時期に検査を行うことが重要ですが、この間PCR検

1. 新型コロナウイルス対策について
2. 住宅・店舗リフォーム助成制度について
3. 借り上げ住宅について

質疑項目

「震災から25年、入居者は様々な病気を抱え、自立して生活することは困難だ。引っ越しをして新たな地域では暮らしていけない。このような方々に寄り添うことなく強引に退去・転居を求めるのは人道上大きな問題だ。」と追及。一方的な退去を求める裁判を取り下げ、入居者と話し合うよう求めました。

答弁ダイジェスト

西議員：神戸市の仕事というのは市民福祉の増進だ。困っている市民がいれば耳をかたむけ助けるべき。宝塚市は市長自らが面談して7年前に継続入居を決め

質疑項目

1. 新型コロナウイルス対策について
2. こども家庭センターについて
3. 福祉パスについて

大変な児童もいる。国の依頼文では「給食などの提供をすることも考えられる」とあり、滋賀県や茨城県では給食提供をしている。神戸市も教育委員会に協力を求め、提供すべきではないか。

高田副局長：学校給食は教育委員会の所管。今の段階では答えられない。

今井議員：放課後児童クラブに関しても国は保護者負担は求めず補助としているが、当然神戸市も適応されるのか。

高田副局長：民設も公設と同様に補助をする。保護者に負担は求めない。国庫負担補助金で足りない部分は市の単費を

1. 新型コロナウイルス対策について
2. 敬老福祉パスについて
3. 借り上げ住宅での住宅扶助について

質疑項目

査の対応が遅れているとの指摘があります。大かわら議員は、「医療機関からの相談に対しても経過観察を指示されたり、断られた例もある」との事例を示し、6日からPCR検査が保険適用となったということで医師の判断による検査の適応や医療体制の強化を求めました。

答弁ダイジェスト

大かわら議員：現場の医師の判断で検査ができるのか。

小原局長：民間の医療機関からの直接依頼が可能になる。

大かわら議員：まん延を防ぐためにも、ひろく現場の判断で検査をうけられるようにしてほしい。

また、現在、神戸市は感染症指定医療機関のベッドを10床確保しているが、こ

た。伊丹市も尼崎市も継続した。元気な方なら新しいところで暮らすことができるが、病気など大変な状況の方が引っ越せると思うのか。

三木局長：住み替えにあたっては3000世帯を超えるみなさんに戸別訪問なり説明してきた。裁判になっている方はそれを理解いただけなかったみなさんだ。裁判が確定すれば自分で行先を探していただくのが基本だ。

西議員：一人で探すことができない方だ。それでも無理をして手押し車で部屋を探したが、どこも断られた。あの市長への手紙を見たら、そんな冷たいこと言えない。

3月4日

新型コロナウイルス対策 教育委員会と協力し 迅速な対応を

こども家庭局審査で今井議員



質問する今井まさこ議員

使う。

今井議員：今後が長い。たいへん困難をかかえる保護者もいる。負担をなくすよう、体制の予備予算をつけ、対策にいかすべきだ。

れだけでは足りない。さらにどのくらい確保するのか。

小原局長：30から50が目標だが、ずっと空けておくのは難しい。

大かわら議員：早めに手をうって、ベッドを使えるように対策を。

また、特別支援学校の臨時休校に伴って、その間の子どものケアの体制や保護者への支援が課題となり、受け入れ先として放課後デイサービスでの対応も増えています。大かわら議員は、国が臨時休校に伴う新たな収入補償を行うが、放課後デイサービスの支援員にも適応すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

榎原就労支援担当部長：国の詳細が決まり次第、対応する。

大かわら議員：国の制度の広報もだが、適応にならなくても市としてやるべきだ。